

onepack Murethane

ターペン可溶形ウレタン樹脂塗料

カンペ1液Mレタン



鉄部・木部・モルタル・コンクリートに！
作業性にこだわった塗りやすい塗料です！

カンペ1液Mレタン

2つの塗料の
イトコドリ

エコレタンⅡの イトコロ

- 1液で使い易い
- 環境にやさしい
- 幅広い下地適性

セラMレタンの イトコロ

- 抜群の作業性
- 安心の高耐候性
- 信頼の塗膜物性

提案色

KP-111	KP-110	KP-112	KP-223	KP-221
KP-310	KP-127	KP-121	KP-133	KP-80
KP-337	KP-120	KP-131	KP-141	KP-247
KP-330	KP-336	KP-147	KP-350	KP-75
KP-347	KP-357	KP-150	KP-352	KP-70
KP-356	KP-167	KP-376	KP-368	KP-50
KP-367	KP-170	KP-385	KP-185	KP-379

・◎印は材料費が割高になります。

※この見本帳は紙に塗装していますので、実物と多少異なる場合があります。

onepack Murethane

塗りやすい

カンペ1液Mレタンは、“塗りやすさ”にこだわりました。

とにかく塗りやすい



Point 1 刷毛・ローラーでの作業性に優れ滑らかな仕上がり肌を呈します。

Point 2 軽やかなネタ配りができます。

Point 3 トマリが抜群です。

仕上がり良好です



刷毛目が目立たず肌滑らか

カンペ1液Mレタン

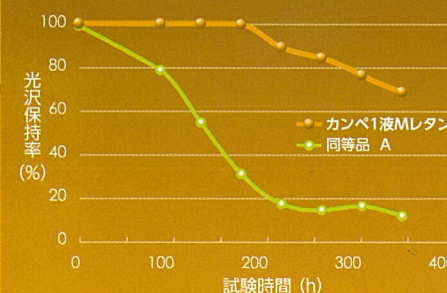


刷毛目が目立つ

同等品A

もちろん、品質にもこだわっています。

耐候性も良好です



※ハイブリッドキセノン(社内法)による促進耐候性試験

塗装後の初期艶も良好です

カンペ1液Mレタン

同等品A



各種機能も有しています

Good F☆☆☆☆

Good 難汚染性

Good 鉛クロムフリー

Good 防カビ・防藻性



onepack Murethane

適応下塗材

○アレスホルダーZ等の微弾性フィラー ○ホルス下塗白(F4)
○ザウルスEXII ○スーパーザウルスなど

適応素材

○鉄部 ○木部 ○モルタル
○コンクリートなど

荷姿

○15kg ○3kg
艶有り〜3分艶有り

標準塗装仕様(例)

工 程		塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)
1	素地調整	劣化している塗膜はケレン工具で除去する。さびは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃する。素地露出部は下塗りを用いて補修塗りを行う。				
2	下塗り	ザウルスEX II 塗料用シンナーA	0.13 0.17	4時間以上 7日以内	ローラー エアレス	0〜10 5〜15
3	上塗り (1回目)	カンペ1液Mレタン 塗料用シンナーA	0.13 0.17	2時間以上 7日以内	ハケ・ローラー エアレス	5〜15 5〜20
4	上塗り (2回目)	カンペ1液Mレタン 塗料用シンナーA	0.13 0.17	—	ハケ・ローラー エアレス	5〜15 5〜20

工 程		塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)
1	素地調整	汚れ、付着物を除去し、研磨紙P120〜240を用いて研磨紙ざりを行う。節およびその周辺は、セラックニスをを用いて節止めを行い、穴うめの必要があればポリパテなどで穴うめを行う。				
2	下塗り	ホルス下塗白(F4) 塗料用シンナーA	0.12	16時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	0〜10
3	上塗り (1回目)	カンペ1液Mレタン 塗料用シンナーA	0.13 0.17	2時間以上 7日以内	ハケ・ローラー エアレス	5〜15 5〜20
4	上塗り (2回目)	カンペ1液Mレタン 塗料用シンナーA	0.13 0.17	—	ハケ・ローラー エアレス	5〜15 5〜20

工 程		塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)
1	素地調整	モルタルの浮き・クラック等は適切な処置を行う。劣化塗膜やチョーキング汚れ等を高圧水洗にて除去し乾燥した清浄な面とする。				
2	下塗り	アレスホルダーG II 上水	0.8〜1.5	8時間以上 7日以内	多孔質 ローラー	1〜5
3	上塗り (1回目)	カンペ1液Mレタン 塗料用シンナーA	0.13 0.17	2時間以上 7日以内	ハケ・ローラー エアレス	5〜15 5〜20
4	上塗り (2回目)	カンペ1液Mレタン 塗料用シンナーA	0.13 0.17	—	ハケ・ローラー エアレス	5〜15 5〜20

※この他にも様々な仕様を組むことが可能です。詳細については当社係員までお問い合わせ下さい。

窯業系サイディングボード

工 程		塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)
1	素地調整	サイディングボードのクラック・ボード面の脆弱層のクラックなどは適切な処置を行う。劣化塗膜やチョーキング・汚れなどを高圧水洗にて除去し、乾燥した清浄面とする。				
2	下塗り	アレス水性エポキシ 上水	0.15	4時間以上 7日以内	ハケ・ローラー	0〜10
3	上塗り (1回目)	カンペ1液Mレタン 塗料用シンナーA	0.13 0.17	2時間以上 7日以内	ハケ・ローラー エアレス	5〜15 5〜20
4	上塗り (2回目)	カンペ1液Mレタン 塗料用シンナーA	0.13 0.17	—	ハケ・ローラー エアレス	5〜15 5〜20

施工上の注意事項

①所要量は、被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。

②塗装仕様に記載の塗装間隔は、屋外で気温23℃の条件を想定しています。低温時や屋内等で十分な換気ができない場合は、塗装間隔が長くなる場合がありますのでご注意ください。

③気温5℃以下、湿度85%以上の環境では塗装を避けて下さい。また、強風時や降雨、降雪、結露が予測される場合も塗装を避けてください。

④吸い込みが大きい素材や、下地調整を行った部分には、「エポMシーラー」を下塗りとしてご使用ください。（「Vpシーラー」「アレスストロングシーラー」は不適です）

⑤黄・赤・青・緑系の芽えた色で仕上げる場合は、隠蔽性を上げるため、1層目に共色で塗装して仕上げることをお奨めします。

⑥外壁面や浴室壁面等にエマルジョンパテを使用しないでください。剥離の原因となります。

⑦耐摩耗性、耐油性、耐溶剤性等が求められるカウンター、床面、遊具、プラント、設備類へは適用できません。

⑧コンクリート、モルタル等のアルカリ性素材に塗装する場合は、水分8%以下、pH10以下になるまで、十分に乾燥させ、適切な下塗りを塗装後に本品を塗装してください。

塗装する際は、適切な下地処理を行ってください。

⑨鉄扉等の旧塗膜への直接塗りはチヂミや付着不良等の不具合が発生する場合がありますので、必ずザウルスEXII等のさび止めの上に本品を塗装してください。

⑩使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。薄めすぎは隠蔽力不足や光沢不足の原因となるだけではなく、流れやすくなるために、仕上り不良の原因ともなりますのでご注意ください。流れた部分が白っぽくなる場合がありますが、この場合は、直ちに補修塗りを実施してください。

⑪被塗面に、油、ワックス汚れ等が付着している場合は、必ずシンナーを含ませたウエスで拭き取ってから塗装してください。

⑫ツヤ調整仕上げる場合、塗装方法の変動、所要量のバラツキ等により、ツヤムラが生じる場合がありますので、ご注意ください。

⑬塗料用シンナーで容易に溶解する旧塗膜の上には塗装しないでください。（チヂミが発生する場合があります。）

⑭異なる色相で塗り重ねる場合、2層目の上塗り時に1層目の色のブリード（色の移行）が発生する場合がありますのでご注意ください。

⑮汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。

⑯塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。

⑰開閉した状態で長時間放置すると、空気と反応して増粘・皮張り等を起こしやすくなりますので、使用後の塗料は、必ず密閉して冷暗所に保管してください。

⑱スチールドアなどで、ゴムパッキンと接触する部分は、粘着することがありますので、塗装は避けてください。

⑲シーリング面への塗装は極力避けてください。汚染や粘着、ワレの原因となります。やむを得ず塗装する場合には、ノンブリードタイプのシーリング剤を用い、更にアレス水性エポキシ又はマルチタイルコンクリートプライマー-EPOをバインダーとして挟むことで不具合を軽減することができず。

⑳ドアノブ廻りや手摺りなど人の手が頻繁に触れると手指等により塗膜が軟化することがありますのでご注意ください。

㉑蓄熱されやすい素材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディングなど）等で、旧塗膜が弾性リシンや弾性スタッコ、複層弾性のアクリルトップ等の場合、環境条件によっては水や温度の影響で塗膜が膨れる場合があります。これらの場合には既存塗膜を除去する等の入念な下地処理を行ってください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。

詳細な内容については化学物質等安全データシート（MSDS）をご参照ください。

■ 予 防 策

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護メガネ・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。

吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。

皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。

火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。

火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。

裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。

本来の目的以外に使用しないこと。

指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。

缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。

取り扱い後は、手洗、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。

使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。

本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■ 対 応

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合は：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。

火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■ 保 管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。

直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。

子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■ 廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）

■ 施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。